

令和6年度 大阪府立渋谷高等学校 第2回 学校運営協議会

【日時】令和6年11月18日(月) 14時15分～16時00分

【場所】会議室

【出席者】佐藤琢志委員長、奥村昌也委員、染川弘委員、室留圭二委員

佐々木里佳校長、田地浩教頭、中井長郎事務長、上寫伸次首席、元田綾子首席、
遠近香央里教務主任、常行隆文生徒指導主事

【次第】(1)会長挨拶

(2)授業参観に関する協議

(3)意見書について

(4)学校現状報告

(5)その他

【議事録】(●事務局 ○協議会委員)(司会 佐藤会長)

(2)授業参観に関する協議

○教員が、授業の中で何を達成したいのか、どのような力をつけさせたいのか、そのために何をするのかを明確にし、興味関心をひく導入、場面設定が増えれば、授業は改善される。

○主体的・対話的で深い学びを実現するため、生徒が発信する場面を増やし、生徒をもっと巻き込む授業づくりが必要である。

(3)意見書について

(司会)意見書は届いているか。

●ない。

(4)学校現状報告

進路部より

●昨年初めて大学進学率が50%を超えた。高校生数が減っているが、大学の定員数が増えている状況や、社会情勢に伴って進学率も上がっている。総合型選抜は去年に比べて減って、一般選抜は増えている。結果が楽しい状況である。

首席より

●教育庁からの通知を受け、不登校の生徒に対する遠隔授業実施について、校内の体制づくりを検討してきた。その結果、今秋より不登校生徒に対するオンライン授業を開始した。さまざまな課題が見えてきたので、今後検討する。

(5)その他

○高校入試のオンライン出願の試行では、中高で連携することができたので、安心して本番をむかえることができた。

○府立高校の倍率低下が際立つ。対策を立てないといけない。公立高校と私立高校の差が激しくなりすぎている。

○私立高校も、授業料は無償でも、学校施設使用料等で費用がかさむことが、保護者に伝わっているのか。